

⑧ 子どもとの会話

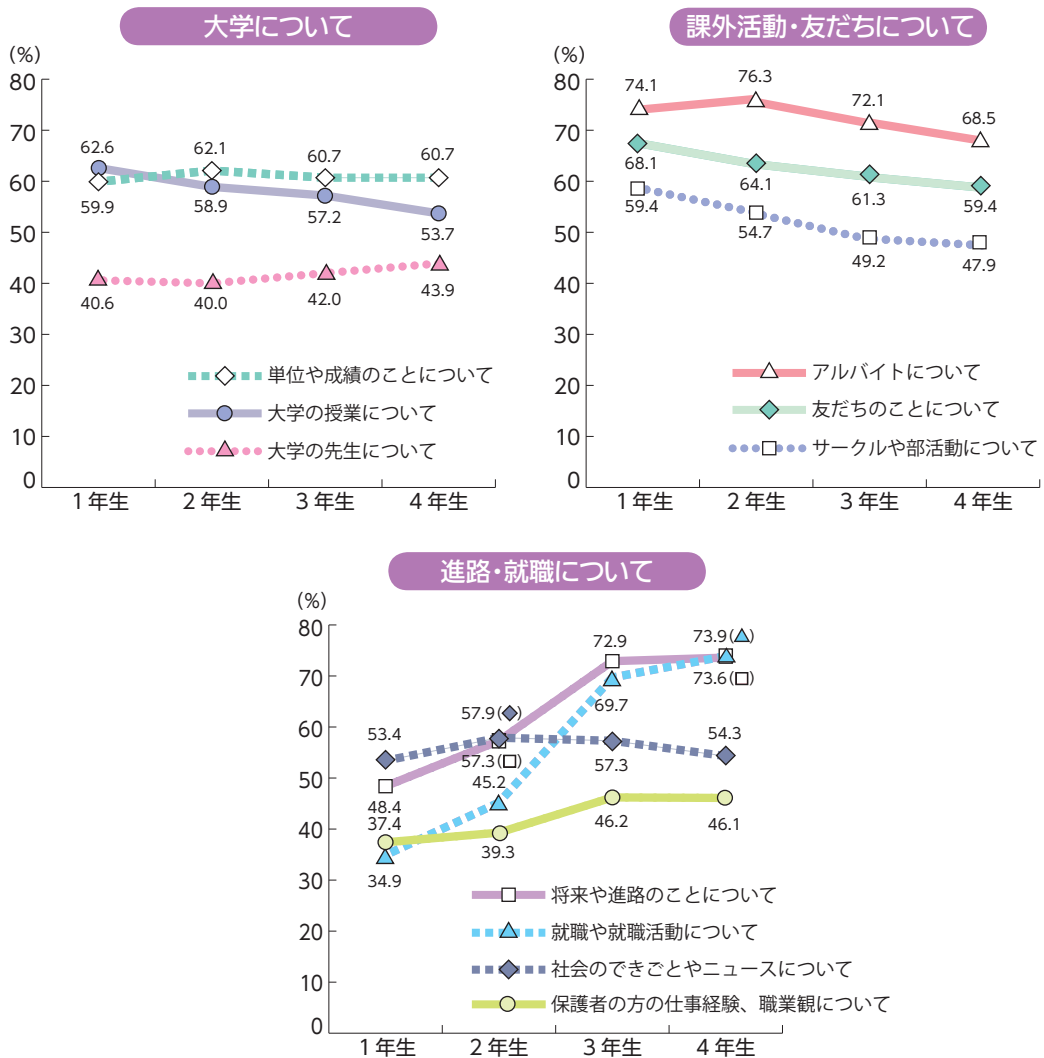
授業、サークル・部活、友だちの話題は、学年を追うごとに低下。一方、将来や進路、就職や就活の話題は、2年から3年で急上昇し、親子の中心的话题に。

Q

今年度1年間を振り返って、あなたは、お子様とどのくらい話をしていましたか。それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。

図8-1 子どもとの会話(学年別)

「よく話をした」+「ときどき話をした」の%



注) サンプル数は各学年1,500名。

「大学の授業」「サークルや部活動」「友だち」に関する親子の会話の頻度は、高学年ほど低下する傾向がみられる。一方で、「将来や進路」「就職や就職活動」を子どもとの会話の話題にした保護者の比率は、大学1・2年生では3~4割台であるが、3・4年生になると約7割と急増する。

子どもと会話をしているのは父親より母親。子どもは女子の方が話をする頻度が高い。

図8-2 子どもとの会話<大学、課外活動・友だちについて>(1~4年生の保護者・父母別・父母×子どもの性別)

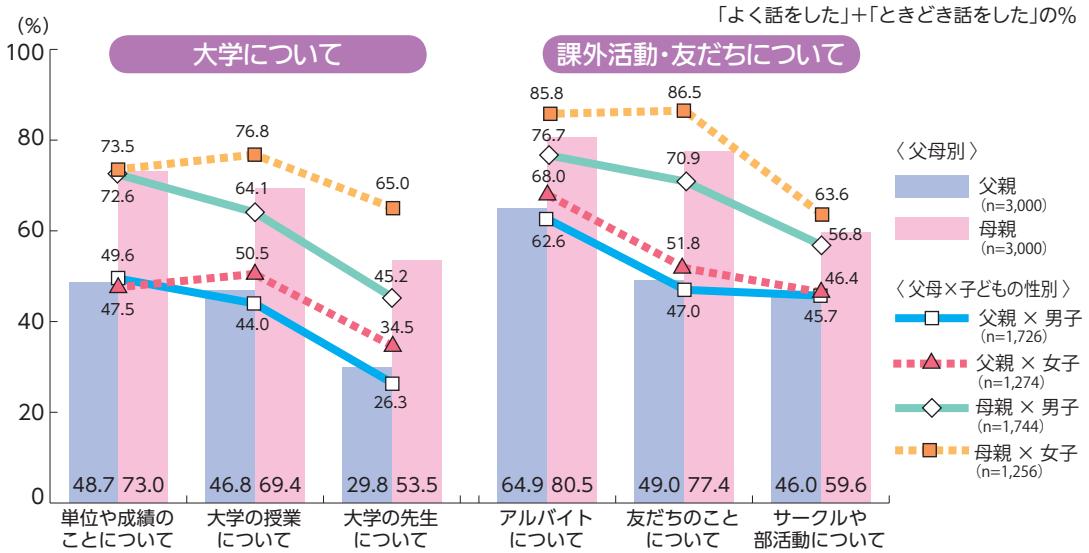
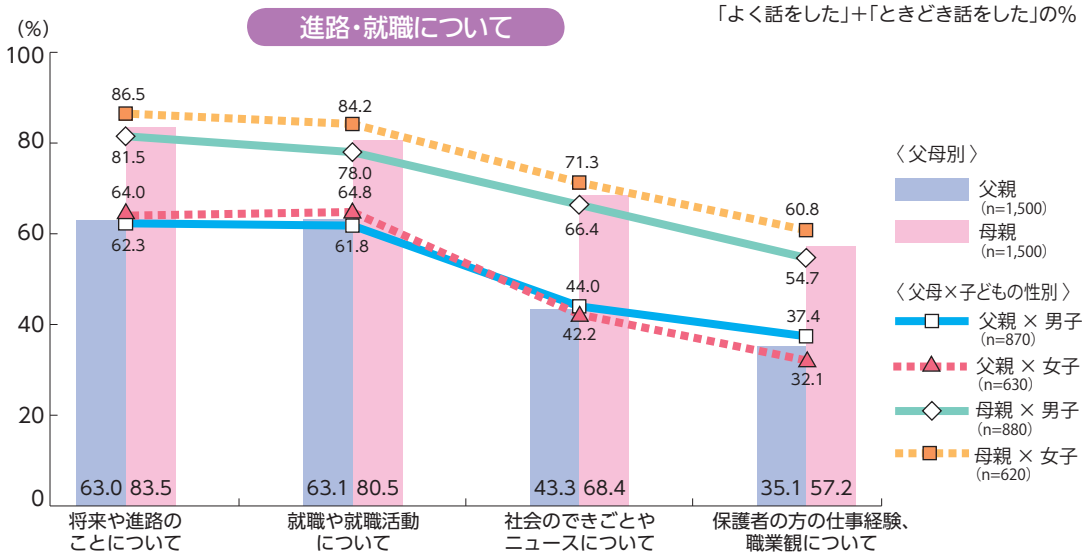


図8-3 子どもとの会話<進路・就職について>(3・4年生の保護者・父母別・父母×子どもの性別)



父親より母親の方が子どもとの会話の頻度が高く、特に「友だちのこと」に関しては28.4ポイントの違いがみられる。子どもの性別では、「母親×女子」の組み合わせが最も会話の頻度が高い。進路・就職に関する会話について、3・4年生の保護者のデータをもても、同様に母親の方が多く会話をしており、「保護者の方の仕事経験、職業観について」も母親57.2%に対し、父親は35.1%。父親は子どもの就職にあたって自身の仕事の経験などを積極的に語ってはいないようだ。

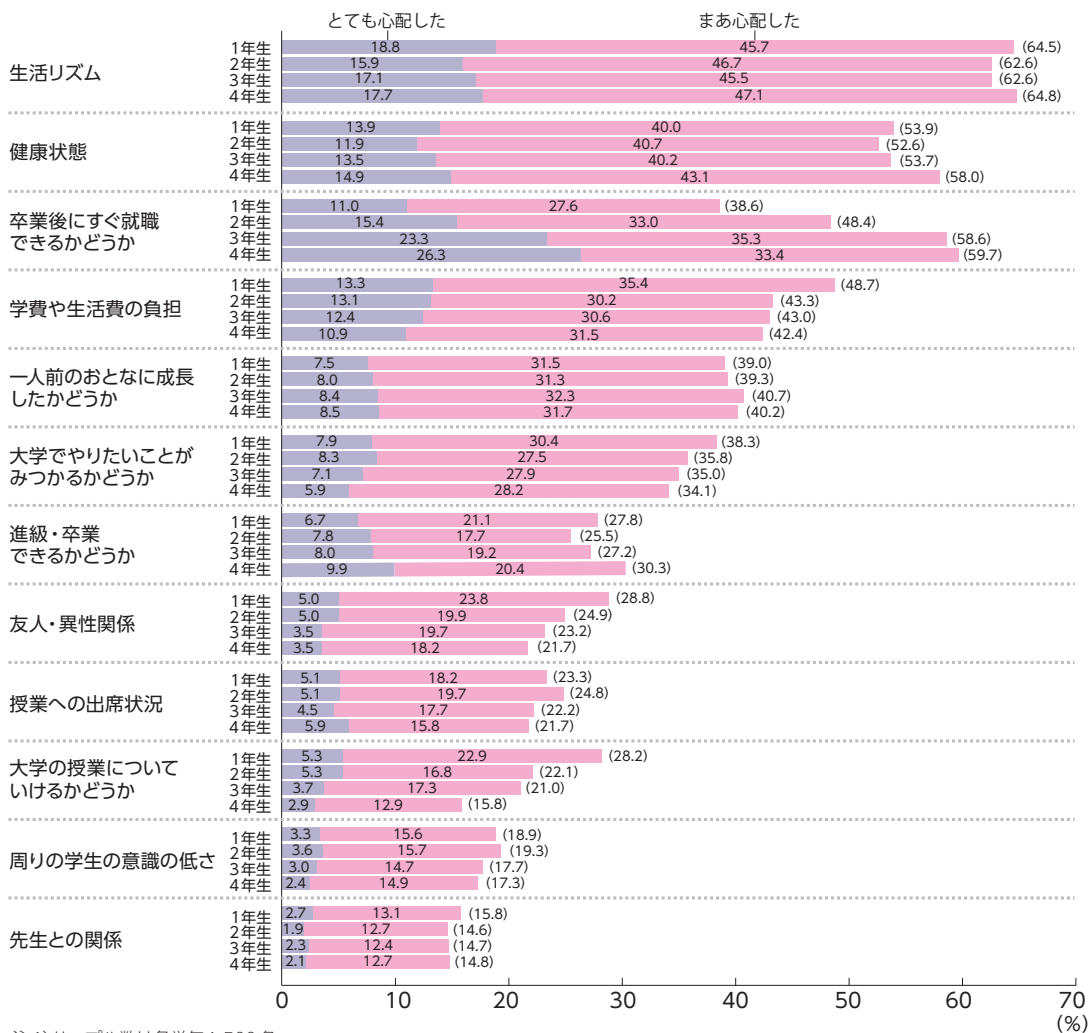
⑨ 大学生生活の心配ごと

大学3・4年生になると「卒業後にすぐ就職できるかどうか」が「生活リズム」「健康状態」となる心配ごとに。

Q

今年度1年間を振り返って、あなたのお子様のことについて、次のようなことが心配になりましたか。

図9-1 大学生生活の心配ごと(学年別)



注1) サンプル数は各学年1,500名。

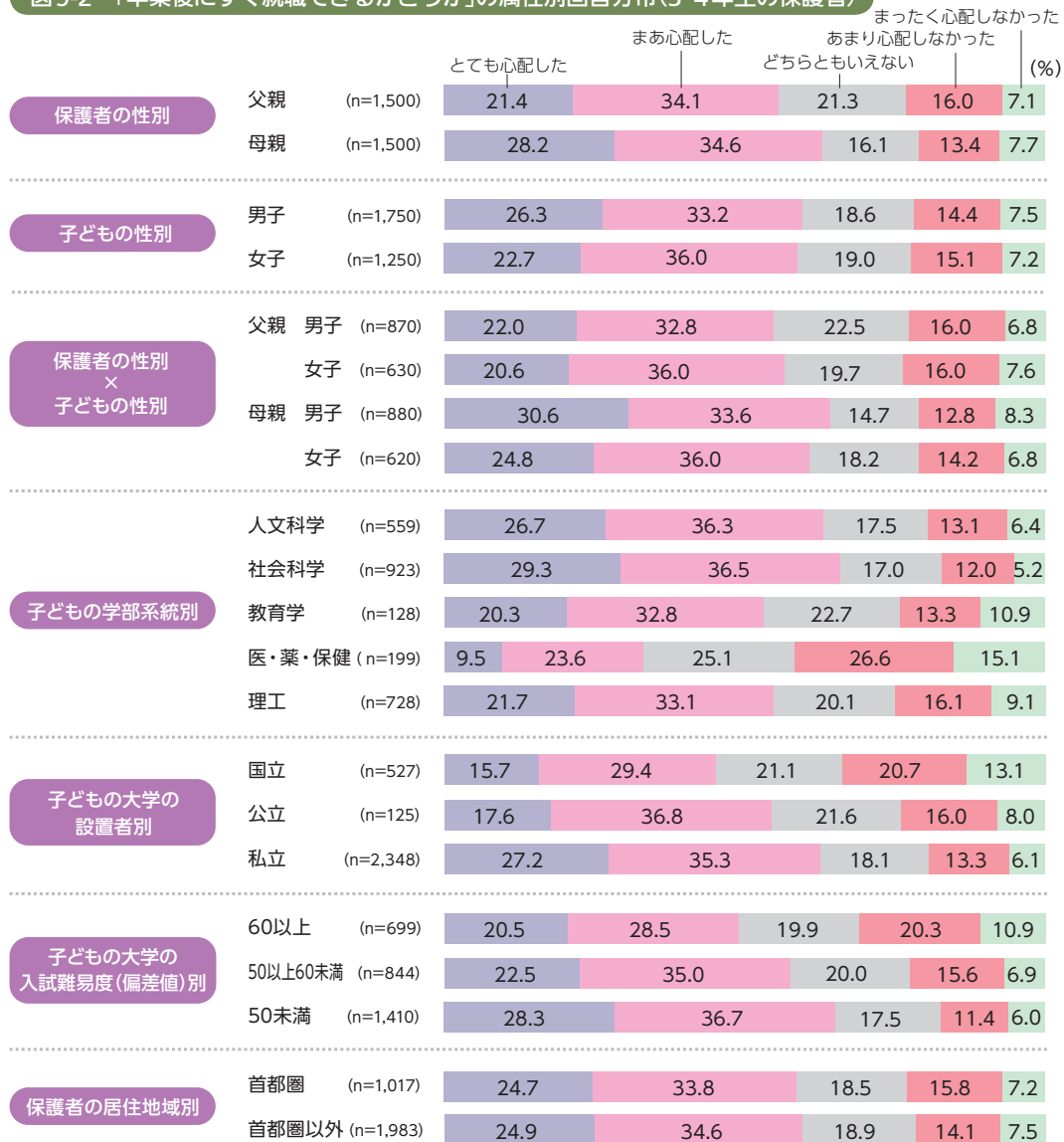
注2) 選択肢は、「とても心配した」「まあ心配した」「どちらともいえない」「あまり心配しなかった」「全く心配しなかった」の5段階。「どちらともいえない」以下は省略している。

注3) () の値は「とても心配した」と「まあ心配した」の合計値。

大学生の子どもの「生活リズム」「健康状態」を心配する保護者は、どの学年でも、5～6割台と高い。しかし、「卒業後にすぐに就職できるかどうか」を心配する保護者は、1・2年時では半数未満となっているものの、3・4年時では6割近くとなり、「生活リズム」や「健康状態」となる保護者の心配ごととなっている。

「卒業後にすぐ就職できるかどうか」心配しているのは父親より母親。
3・4年生の男の子をもつ母親のほぼ3人に1人が「とても心配」。

図9-2 「卒業後にすぐ就職できるかどうか」の属性別回答分布(3・4年生の保護者)



注1) 学部系統別の分析はサンプル数の多い5学部系統のみとし、その他は省略している。学部系統の詳細はp.3を参照。

注2) 入試難易度の詳細はp.3を参照。

注3) 「首都圏」は東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県としている。

卒業後すぐ就職できるかどうかを心配に思っている割合(「とても+まあ心配した」の%)は父親(55.5%)より母親(62.8%)の方が高く、男の子をもつ母親では3割が「とても心配した」(30.6%)と回答している。属性別に「とても心配した」の値をみると、学部系統別には「社会科学」系統(29.3%)、大学の設置者別には私立大学(27.2%)、入試難易度別には偏差値「50未満」(28.3%)で高くなっている。保護者の居住地域による違いはみられなかった。

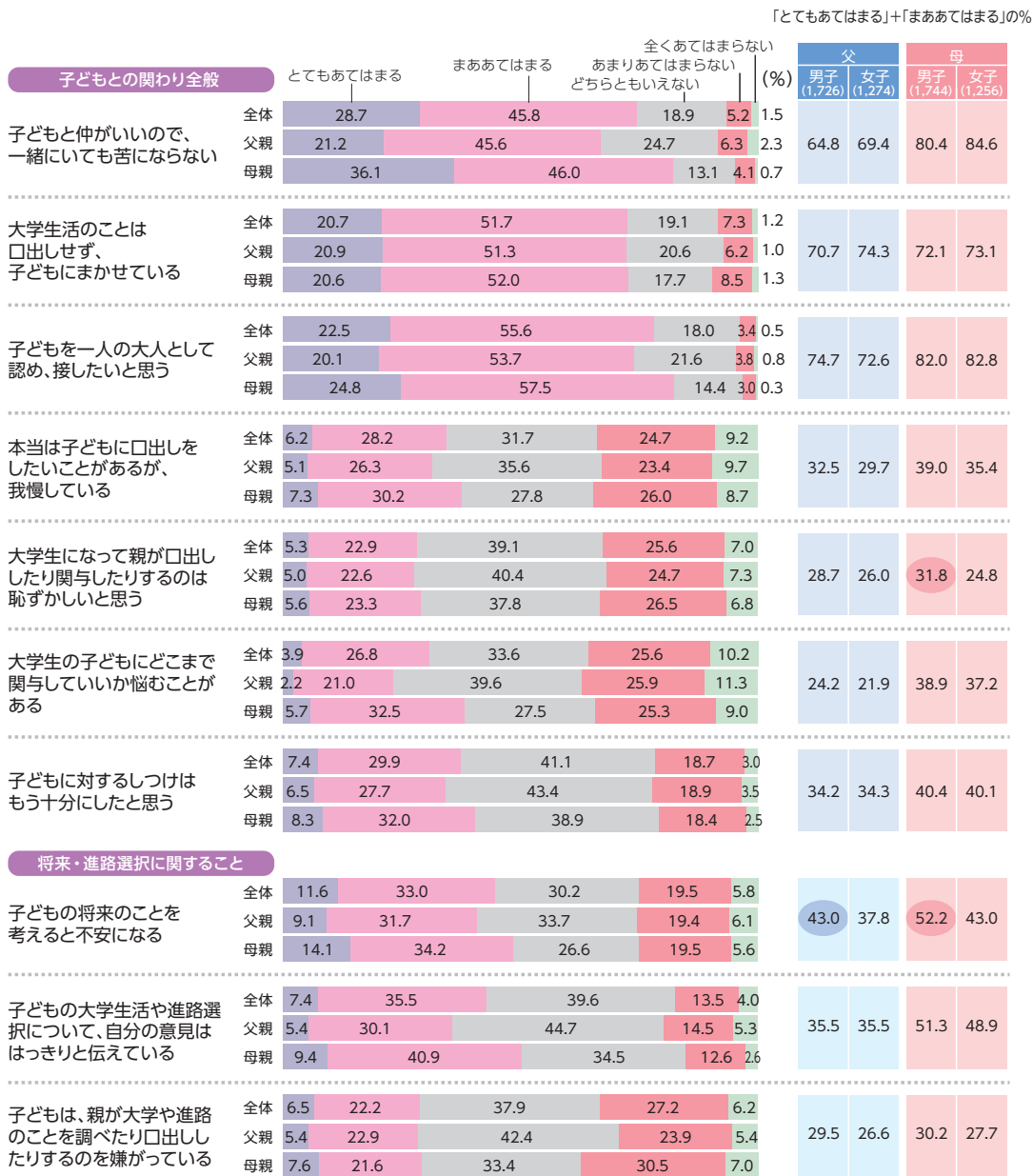
⑩ 子どもとの関わりに対する意識

「大学生活のことは口出しせず子どもにまかせている」保護者が7割。
一方で、「本当は子どもに口出しをしたいことがあるが我慢している」が3割。

Q

お子様とあなたご自身との関係について、もっとも近いものを1つずつお選びください。

図 10-1 親子関係についての意識(全体・父母別・父母×子どもの性別)



注1) サンプル数は、全体6,000名、うち父親3,000名、母親3,000名。父母×子どもの性別のサンプル数は()内の値。
 注2) 父母×子どもの性別の値は「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計値。
 注3) 父母×子どもの性別の値の●●は、父母それぞれにおいて、子どもの性別に5ポイント以上高い値。